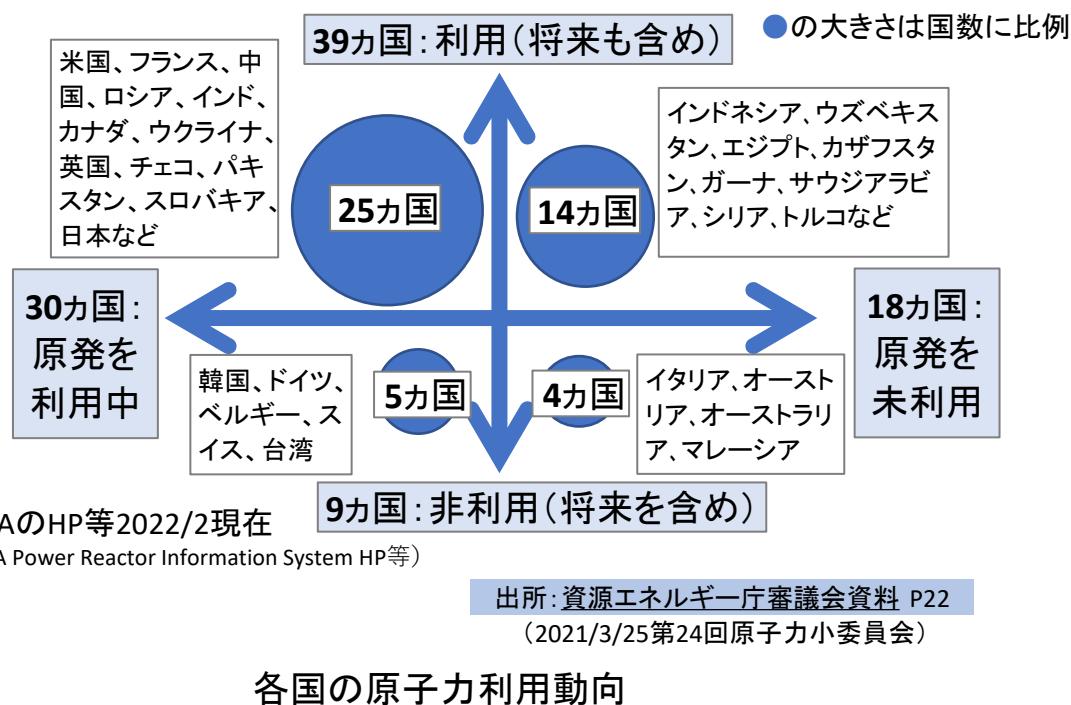


III-3-⑩原子力(各国の原子力利用動向)

世界各国における原子力発電利用の現状と将来に向けた考え方を明示している国を分類した図(IAEA)です。現在、原子力を利用中の国は30ヵ国、未利用の国は18ヵ国。また、将来的に利用する意向の国は39ヵ国で、将来的にも利用しない国は9ヵ国となっています。

現時点では未利用でも、将来は利用するとしている右上の14ヵ国の動向が大きく影響しています。



2022/2に起きたロシアのウクライナ侵攻によって、エネルギー安全保障の重要性が増しています。従って、それまでは廃止するとしていた5ヵ国の中にも方針を変更した国が出てきています(ベルギー、韓国)。

国	原子力の閉鎖等	直近の状況
ドイツ	2022年に閉鎖 (2003年に法制化)	ウクライナ侵攻後も原子力廃止としていたが、9月に再検討。その結果、2基は2023/4まで予備として延長。結局4月に廃止とした
ベルギー	2025年に閉鎖 (2003年に法制化)	2025年に閉鎖する計画であった原子力について、比較的新しい2基については、10年間の延長とした
スイス	原子炉の寿命で廃止 (2017年に法制化)	現在稼働している原子炉が寿命となって廃止する場合においても、新設はしないとしているもの。従って、当面は運転を継続
韓国	2080年頃に閉鎖 (2017年に閣議決定)	2022年の政権交代により、原子力推進の方針を転換した。また、民間による海外の原子力建設も推進
台湾	2019年に廃止 (政府発表)	2021/12の国民投票で原発の建設再開が否決。なお、原発廃止については今後の電力の5割強をLNGに転換する計画の実効性次第)

2022/2以降の状況変化